



地球環境基金シンポジウム 「ポストコロナ時代に向けた環境 NGO/NPO 活動の展望」
の開催と申込の開始について

令和4年3月10日（木）

環境保全活動や環境行政にかかわる方々及び環境保全にご関心のある方々を広く対象とする、地球環境基金シンポジウム「ポストコロナ時代に向けた環境 NGO/NPO 活動の展望」の開催にあたり、このたび申込を開始いたしますのでお知らせします。

地球環境基金では、2020年度より新型コロナウイルスの感染拡大による環境活動への影響及びその対応策について調査を進めて参りました。シンポジウムでは調査結果とそれを踏まえた取組みのご報告とともに、ポストコロナ時代を見据えて環境 NGO/NPO の組織運営や活動の転換を図るうえでのヒント・きっかけとなる情報を提供させていただく予定です。今後の環境活動のさらなる発展の参考にもなるかと存じますのでぜひご参加ください。

1 シンポジウム開催の目的

長引く世界的な新型コロナウイルスの感染拡大は、国内外の環境 NGO/NPO の活動へも大きな影響を及ぼしており、多くの団体がコロナ禍でも活動を停滞させることなく進めていこうとする中で、活動や組織のあり方の転換を迫られ、さまざまな課題に直面しています。

こうした現状を鑑み、地球環境基金ではコロナ禍の環境 NGO/NPO の活動現状を探るため、2020年度から継続して新型コロナウイルス感染症の活動への影響調査を実施し、その結果を踏まえて要望の高かった内容について研修や情報提供を実施してきました。シンポジウムではその結果報告をさせていただき、NGO 2 団体のコロナ禍で実施した事業と組織の転換の発表やパネルディスカッションで学び・気づきをご共有いただくことにより、ポストコロナ時代の環境活動の発展に資することを目的としております。

なお、シンポジウムは新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ必要から、オンライン形式で実施します。

2 開催内容

◆基調講演

持続可能な社会づくりに向けた環境 NPO/NGO の役割

環境省大臣官房総合政策課民間活動支援室 企画官 浅原 堅祐 氏

◆報告

新型コロナウイルス感染症による影響調査（報告）及び地球環境基金の取組について
（独）環境再生保全機構 地球環境基金部地球環境基金課

◆事例発表

- ・コロナ禍で実践した活動の転換～ケニア・イシニア地区における学校植林（一緑運動）の事例～ （特非）ICA 文化事業協会 理事長 佐藤 静代 氏
- ・人口が減るからこそ豊になる人づくり・町づくり・社会づくり～岩手県陸前高田市広田町からの挑戦～ （特非）SET 理事長 三井 俊介 氏

◆パネルディスカッション

コロナ禍を契機とした NGO/NPO 活動や組織運営における学びの共有

- ・モデレーター （特非）CR ファクトリー 理事 五井 利明 氏
ファンドレイジング・コンサルタント/上級ウェブ解析士 堤 大介 氏
- ・登壇者 （特非）ICA 文化事業協会 理事長 佐藤 静代 氏
（特非）SET 理事長 三井 俊介 氏

3 開催日時

2022年3月24日（木）14：00～16：00

4 実施主体

主催：独立行政法人環境再生保全機構

後援：環境省（予定）

協力：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）

事務局：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金内 研修事務局

5 申込資格

NGO/NPO 等で環境保全活動に携わる方や自治体の担当者の方、環境保全に興味のある個人・団体等どなたでもお申し込みいただけます。

6 申込方法

- ① 申込希望者は、地球環境基金のホームページに掲載する申込フォームからお申し込みください。
- ② 申込受付後、自動返信メールで当日の zoom ウェビナーID等をお送りします。
- ③ 事務局連絡先：
独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金内研修事務局
TEL:044-520-9505
FAX:044-520-2192
Email:kikin_kensyu@erca. go. jp
HP: https://www.erca. go. jp/jfge/training/covid19_symposium_2021.html

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

直通 : 044-520-9505

部長 : 秋保 裕幸

課長 : 小林 大

担当 : 大島 圭子